

VICTRON アルミホイール保証書・取扱説明書

VICTRONアルミホイールを正しく安全にご使用いただくために

このアルミホイールをご使用いただくお客様へ

お取り付け・ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、注意事項を守って正しく安全にご使用ください。
またこの取扱説明書は必要な時にはいつでも取り出せる場所(車検証ケース等)に大切に保管してください。
当該ホイールに関する不明な点、使用過程における不具合が生じた場合は、まず販売店にご相談ください。

この取扱説明書で使用している表示と意味は次の内容を表しています。

- | | | |
|---|-----------|--|
|  | 確認 | この表示を無視して確認を怠った場合、使用者が傷害を負う可能性、または物損事故が起こる可能性があります。 |
|  | 注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害が想定する内容を示しています。 |
|  | 警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。 |
|  | 危険 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がきわめて高い内容を示しています。 |

■タイヤ組み込み前に確認

1. ホイールの選定

- ・ホイールのサイズ・オフセット・ボルト穴数・PCD・取り付け面形状が装着する車両に適合することを確認してください。
またホイール・タイヤの荷重値が装着車に適合していることを確認してください。これらが不適合な場合、安全な走行が確保できない場合があります。尚、不明な点は販売店にご相談ください。

-  **警告** 車軸ごとに同じサイズ、同じ品種のホイールを装着してください。
異なったホイールを混用すると操縦安定を失われる場合があります。

2. タイヤの選定

- ・標準サイズのタイヤから、インチアップなどで径・扁平率が異なるタイヤに履き替え場合には標準サイズのロードインディックス (LI) (そのタイヤの設計許容荷重値、規定の条件で、そのタイヤに負担できる最大負荷能力を示す数字)を下回らないよう注意してください。

-  **警告** 装着されるタイヤのロードインディックス及び空気圧を確認してください。
ロードインディックスや空気圧が基準値より下回っている場合はタイヤが破損する恐れがあります。

- ・ホイールにタイヤを装着する際には、リム幅に合ったタイヤ幅から選定して装着してください。

-  **警告** リム幅に対して極端にタイヤ幅が狭い場合などビード落ちなどが発生する恐れがあり、非常に危険です。

■バルブの装着・タイヤの組み付け

1. バルブの装着

- ・クランプイン (ナット締め) タイプのバルブナットはメーカー指定トルクで締め付けてください。
- ・タイヤ交換時には、バルブも新品の専用バルブに交換してください。古いバルブをそのまま使用するとグロメット (エアシール用のゴムパッキン) の劣化で空気漏れを起こす事があります。バルブコア (むし) はショートタイプ (JIS B型 9000番) を使用してください。

-  **警告** 専用バルブ以外のバルブを使用した場合 寸法・形状が合わずに空気漏れを発生する事があります。

2. タイヤ組み付け

- ・タイヤとホイールを組み付けるときはリム形状にあった組み付け方法 (ノーマル形状はディスク表面を上セット、リバース形状はディスク表面を下セット) にてタイヤビード部及びホイールのフランジ部に潤滑剤を塗布してタイヤやホイールを傷つけないように組み付けてください。

ノーマル形状: EXCEL II X/EXCEL III X/EXCEL IV/EXCEL V/EXCEL V X/EXCEL JX

リバース形状: EXCEL III/EXCEL LX/VACALA T-01/VACALA M-01

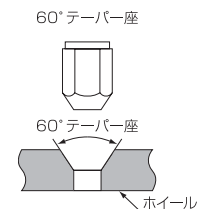
-  **注意** タイヤ組み付け後、水槽、石鹼水などを用いタイヤとリムの合わせ目、バルブ (ホイールとの合わせ目・バルブ口)、シーリング部等から空気漏れがない事を確認してください。

-  **注意** ホイールバランスは、必ず全輪の調整をしてくださいます。バランスが狂ったまま装着すると、異常な振動や共振の発生、操縦性・安定性の低下を起こす事があります。

■車両への装着について

1、ナットについて

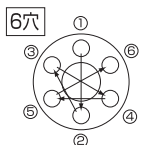
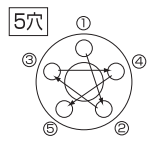
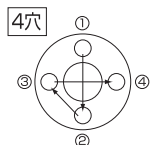
- ・車側のネジ径・ピッチを確認の上、それぞれの形状に合ったナット(ボルト)をご使用ください。
またホイールを車に取り付ける時は、ナットのネジ山のかかり長は最低10mm以上かけてご使用ください。
※VICTRONホイールは全て60°テーパースのナット(ボルト)を使用します。



- ⚠ **危険** 形状、ネジ径・ピッチの異なるナット(ボルト)は充分な締め付けが出来ないので充分にご確認の上、取り付けをしてください。ご不明な場合は販売店にご確認ください。

2、ナット・ボルトの締め付け方

- ・取り付けナット(ボルト)の締め付け順序は、図のように仮締めを行ない、その後トルクレンチにて推奨トルクで均等に締め付けてください。



例：60°テーパースの場合
M10=60~80N・m (6~8kgf・m) M12=120~140N・m (12~14kgf・m)
M14=160~180N・m (16~18kgf・m)
(スタッドボルトの直径が10mm・12mm・14mmのものをそれぞれM10・M12・M14と呼ぶ)

- ⚠ **注意** ご自身で装着後の締め付けトルクの確認は、販売店にお申し付けください。車両取扱説明書に締め付けトルクの指定がある場合はそれにしたがって正しく締め付けてください。ご不明な場合は販売店またはメーカー窓口にお問い合わせください。
- ⚠ **危険** 取り付けナット(ボルト)は締め過ぎても、締め付け不足でも、ホイール・ハブボルト等の変形やゆるみを引き起こし、事故の原因となることがあります。トルクレンチを使用して、正しく締め付けてください。
- ⚠ **危険** 取り付けナット(ボルト)の締め付けに、インパクトレンチを使用しないでください。ホイールの傷や変形を起こしてしまう恐れがあります。

3、スペーサー類のご使用について

- ・やむを得ずスペーサー等をご使用になる場合は、車種によってはスタッドボルトの長さを短くしてしまい、ナットで充分な締め付けが出来ない場合がありますので、ナットのかかり長さを確認された上でご使用ください。またワイドトレッドスペーサーについても、アルミホイールの正常な装着や機能を妨げる場合があります。ご使用される場合は販売店とよくご相談の上でご使用ください。

4、車種別取付上の注意

- ・車種によって、取付面にウェイト/ボルトの頭/位置決めピン/ハブボルト根元にワッシャーが出ている場合があります。これらとホイール各部が接触しないかどうか、充分にご確認ください。
※輸入車でハブボルト根元にワッシャーが装着されている場合は取外してからホイールを装着してください。

- ⚠ **危険** アルミホイールを車体へ装着する際、以下の事項を必ずお守りください。守られていない場合、走行中にホイールが外れる恐れがあります。
 - 車両の取付面やハブボルトに、錆・汚れ・変形がないこと。
 - 取り付けようとするホイールと車両取付面の干渉(取付面上のピン/センターハブ/ワッシャー類とホイールの接触)がないこと。

5、装着後の確認

- ・車両に装着後はハンドルを左右いっぱいにつけて、タイヤ・ホイールと車両各部に接触がないか確認してください。また装着後は、タイヤ・ホイール・キャップ類などが車体・フェンダーからはみ出していないことを必ず確認してください。

- ⚠ **注意** タイヤ・ホイール・キャップ等の各部が車体・フェンダーなどからはみ出している一般公道を走行は法令で禁止されております。

■ホイール装着後の走行について

1、ホイール装着後について

- ・ホイール装着初期やローテーション(タイヤ装着位置の交換)後は取り付けナット(ボルト)が緩む場合がありますので、約100km走行後推奨トルクにて増し締めを行なってください。

- ⚠ **注意** 走行中に不安定な状態になったり、異常な振動音などを感じたら速やかに安全な場所に停車して取り付けナット(ボルト)に緩みがないか、タイヤ・ホイール各部及び車両に異常がないか点検してください。異常が見られた場合は、適切な交換・修理が終わるまで絶対に走行しないでください。

2、日常点検について

- ・日常点検時に、取り付けナット(ボルト)の緩みがないか必ず点検してください。また空気圧についても、点検・調整を行なってください。

- ⚠ **確認** 取り付けナット(ボルト)の緩みと空気圧は、安全に走行するために最低限必要な点検項目です。

3、走行中の障害物への乗り上げなど

- ・歩道・縁石・凸凹への乗り上げ/衝撃を感じるような乗り上げはホイールが変形したり、亀裂が生じる原因の元になりますのでご注意ください。

- ⚠ **危険** 急発進・急制動・急旋回(ドリフト)などは、タイヤ・ホイールを傷めるだけでなく、重大な事故の原因にもなりますので絶対にお止めください。

■お手入れと保管

1、お手入れについて

- ・ホイール・キャップなど腐食・退色・糸錆などを避けるために、海辺や雪路（特に凍結防止剤散布道路）、泥路などを走行した後は十分に水洗いし、柔らかい布で水分を完全に拭き取ってください。洗浄の際、市販ホイール洗浄剤やアルミホイールクリーナーを使用する場合は、説明書をよく読んでからお使いください。（含有成分によっては、ホイール・キャップなどの表面を侵してしまう場合があります）洗車機での洗浄はホイール・キャップなどの表面を傷つけます。
※ホイールのお手入れは原則として手作業でお願いします。

2、保管について

- ・タイヤ・ホイールの保管は洗浄した後充分に乾燥させ、直射日光・雨・水分油類・高温多湿のところにさけてください。保管の際はタイヤ空気圧を使用時の1/2程度に下げて保管してください。再度ご使用の際はタイヤの空気圧補充・点検・バランス調整を行ない、タイヤ・ホイールに異常がないことを確認してください。

⚠ 注意 経年劣化や硬化したホイール・タイヤの再使用は大変危険です。ご自分で判断できない場合は販売店にご相談ください。

■修理加工について

1、修理について

- ・変形したり亀裂を生じたホイールをお客様ご自身または修理業者等で修理・加工等は絶対に行なわないでください。

⚠ 危険 不適切な修理・加工は溶接の熱の影響を受けたり、変形部分を再度曲げるなどの影響で見た目では判らない強度低下を招き大変危険です。

2、組み立て式ホイールの取扱いについて

- ・組み立て式2・3ピースホイールのリムとディスクの分解や結合ボルト（製造時に規定トルクで組み上げられています）は緩めたり増し締めしたりしないでください。

⚠ 危険 走行中にホイールが分解したり、急激な空気漏れを起こし事故などにつながるおそれがあります。

■クロームメッキホイールについて

1、使用上の注意とお手入れについて

- ・気候・風土の関係で、塩分・凍結防止剤・薬品等、またブレーキダストによる汚れがホイールに付着した場合、速やかに中性洗剤で洗い流してください。その後水気を十分に拭き取って乾燥させてください。
- ・洗う際は、スポンジ・柔らかい布等を使用してください。洗車機、硬いブラシ等はクロームメッキ表面を傷付け、それが起因となって腐食の原因になる恐れがあります。
- ・雨期・湿気が多い場所に保管される際は、ワックスを塗ってください。但し、酸の成分を含んでいるホイールクリーナー等の使用はおやめください。

2、ホイールバランスを取る際のご注意

- ・ホイールのディスク部分がバランスのセンターコーンに当たりホイールの干渉する部分が損傷してメッキ剥がれ等の原因になります。ホイールディスク部分とバランスのセンターコーンが直接当たらない様、クッション等を入れてバランスを取ってください。

ホイール品質基準適合マークについて

JWL基準適合マーク
JAPAN LIGHT ALLOY WHEELの略

JWL

乗用車用軽合金製
ディスクホイールの技術基準

この基準は乗用車（乗車定員11人以上の自動車、二輪自動車及び側車付二輪自動車を除く）用軽合金ホイールに適用されている安全基準です。この技術基準に定められた試験を製造者自らの責任において行い、適合したものについてはJWLのマークが表示されます。

JWL-T基準適合マーク
JAPAN LIGHT ALLOY WHEEL TRUCK & BUSの略

JWL-T

トラック及びバス用軽合金製
ディスクホイールの技術基準

この基準はトラック・バス用軽合金ホイールに適用されている安全基準です。この技術基準に定められた試験を製造者自らの責任において行い、適合したものについてはJWL-Tのマークが表示されます。

品質検査合格マーク
VEHICLE INSPECTION ASSOCIATIONの略

VIA

品質検査合格マーク

JWL・JWL-T基準に定める適合商品であるかを第三者公的機関の「自動車用軽合金ホイール試験協議会」が確認するもので、JWL・JWL-T基準による厳格な品質・強度再確認試験に合格したものについてはVIAマークの表示がされます。



警告

国産車及び輸入自動車にアルミホイールを装着される場合のご注意

①ホイールを車に装着の際、ホイールに限定使用の表示荷重記号（690KG・955KGなど）が表示されている場合は、表示荷重記号と車の輪重との適合をご確認ください。輪重が表示荷重記号を上まわっている場合は絶対に装着しないでください。

②ホイールの表面・裏面に、P.C.D表示とともに限定荷重記号が刻印または、鋳出し文字で表示されています。装着されようとする車種のサイズ・P.C.D.をそれらの記号がホイール側に表示されている事を装着前に必ずご確認ください。輸入車の場合、P.C.D.によってはそれら表示が無い場合があります。詳しくは販売店、または当社までお問い合わせください。

■技術基準

このアルミホイールは「軽金属製ディスクホイールの技術基準（**JWL**、又は **JWL-T**）」に適合しており「自動車用軽合金製ホイール試験協議会の強度試験（**VIA**）」にも合格していますが、安全および性能の維持のために本書の内容を守ってお使いください。
ご不明な点はご購入の販売店へご相談ください。

VIA限定荷重・限定荷重記号について

※限定荷重とは、自動車用軽合金製ディスクホイール技術基準（JWL）、トラック及びバス用軽合金製ディスクホイールの技術基準（JWL-T）にサイズ別にホイールの試験条件1.の算出式が規定されています。自動車用軽合金製ホイール試験協議会による技術基準に添った限定使用でハブ取付仕様別に車両を限定し、それらの車両の静止時車輪反力のうちの最大値を設計荷重としたホイールで、そのハブ仕様別の車両の静止時車輪反力のうちの最大値を表示しています。表示例としては「VIA 690KG」等、試験条件2.限定使用表による表示荷重記号をホイール表側または裏側に鋳出し文字で表示しています。なお、JWL、JWL-T併用ホイールの場合は、表示荷重記号の前にそれぞれVIA P-***KG、VIA T-***KGを表示しています。また、日本国内において販売されるホイールには全てJWLまたはJWL-Tの文字が鋳出し文字または打刻で車両に装着した状態で確認できる位置に表示されている事が義務づけられています。

保証書

販売店様へ（お客様へご説明の上、下記必要事項をご記入いただき、必ず本書をお客様へお渡しください。）
本保証書を紛失した場合、保証が受けられなくなりますので大切に保管してください。

品番ラベル貼付け

ご購入・取付日

車 種 名

年 式

ご使用のタイヤサイズ

ご購入店名記入欄：

保証規定について

※本保証書は、当社オリジナルのアルミホイールを一定期間の使用において、法令並びに取扱説明書の取扱い、点検、お手入れを遵守していただいた場合のみ修理・部品交換などを行うことを明記するものです。

尚、お取り扱い・お手入れの不具合や法令に違反する取り扱いなどに起因する不具合は保証、修理交換などには応じられませんので予めご了承ください。

1.保証期間（ご購入頂いた日から）

区 分	保障期間	対 象
一般保証	3年とします	ホイール本体。（限定保証対象除く）
限定保証	1年とします	バルブ、センターカバー、センターキャップ、銘板（レンズ・オーナメントなど）。 ホイール本体及び付属品の外装の塗装、メッキ、スパッタリング、メタルコート。錆・腐食。

2.保証の範囲

■お客様ご使用のアルミホイール及び付属品に、法令及び取扱説明書に従った正常な使用状態で不具合が発生した場合、本保証書に示す保証期間と条件に従って無償で修理又は部品の交換をさせていただきます。尚、修理のために取り外した不具合部品等は当社の所有となります。

3.保証の適用

■この保証は日本国内でのみ使用されているホイールについてのみ有効です。この保証書は本書に明記した保証期間・条件のもとに保証・修理などをお約束するものです。したがって保証期間経過後に発生した不具合に関しては原則として有償で修理・交換などを行います。但し、製品不具合の度合いによっては有償修理できない場合があります。

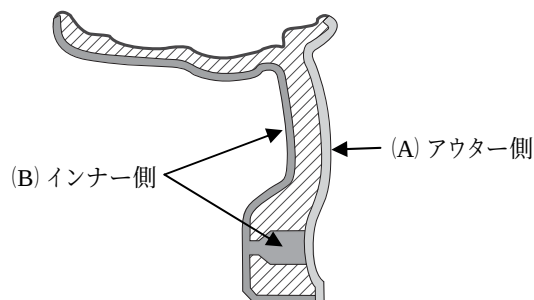
4.保証を適用しない事項

①次に示す現象、不具合については、保証修理いたしません。

- ・使用損耗あるいは経年変化により発生する現象（塗装表面・メッキ表面・スパッタリング表面及び樹脂部品などの自然退色等）
- ・走行機能に影響がない、一般的に操作フィーリングとされている感覚的現象
- ・通常の注意で発見処置できたにもかかわらず、放置したことにより拡大した不具合
- ・製造上の工程で避けられない現象
クロームメッキ・塗装工程でのハンガー・フック・電極の跡や、パフやクロームメッキ・塗装の入り難い部分のクロームメッキ・塗装不均一

クロームメッキ

- ・図B部分（インナーリム/ディスク裏面/PCDホール内部）のメッキ剥れ
アウターリム、ディスク表面（図A）とインナーリム、ディスク裏面、PCDホール内部（図B）及びセンターボア内のメッキについて、メッキをかける前の下処理方法が異なる為（図B）に関してはメッキが剥れる場合がありますが（図A）の部分まではメッキが剥れないように処理しております。



ホイールの断面図

②次に示すものに起因する不具合は、保証修理いたしません。

- ・添付の取扱説明書に記載されている注意条項が守られなかったことによる不具合
- ・ホイール本体・付属部品などへ加工・改造による不具合
- ・当社が指定した以外の修理業者による修理
- ・法令で認められていない改造車両への装着による不具合
- ・通常保守点検あるいは整備の間違いによる不具合
- ・装着される車両へ不適当なホイール（サイズ・荷重等）装着による不具合（フェンダーからはみ出しとホイールハウス内側及びフェンダーとの接触・乗用車ホイールのトラック及びバス車両への装着等）
- ・日本自動車タイヤ協会規格（JATMA）に定められていない不適合サイズのタイヤ装着による不具合
- ・外傷、煤煙、薬品、鳥糞、オイル、石はね、鉄粉、酸性雨、塩害、凍結防止剤、洗剤等の外部要因による不具合
- ・地震、風水害などの天災、火災、事故による不具合
- ・タイヤ、チューブ不良品の使用、タイヤ脱着時やバランス調整の作業ミスによる不具合
- ・一般公道以外での走行、レース、ラリー、ジムカーナ、ダートトライアル、走行会等の競技での走行による不具合

③次に示す保証修理実施に於ける費用は負担いたしません。

- ・当社が指定する場所以外で修理された場合の費用
- ・保証修理中の不便さ及び損失等による下記の費用
電話代金・牽引代・休業補償・レンタカー代金・宿泊費・交通費・営業損失・商機遺失補償・使用中のタイヤの目減りなどに対する補償、新品タイヤへの交換等

株式会社 ジャオス

〒370-3504 群馬県北群馬郡榛東村広馬場3586-1 TEL.0279-20-5511 FAX.0279-20-5549

URL:<http://www.jaos.co.jp> E-mail:info@jaos.co.jp